

原単位の改善のための取組に関する状況【2024年度提出分(2023年度実績)】※非特定事業者用

鴨川流域土地改良区
(水土里ネット鴨川流域)

銘柄コード
法人番号

—
5700150031827

日本標準産業分類	コード	項目名
中分類	01	農業
細分類 (申請事業)	0131	穀作サービス業
エネルギー管理統括者		

【エネルギーの使用の合理化】

主たる事業における エネルギー消費原単位※注 (2023年度実績)	原単位分母				
主たる事業 の構成割合	%				
事業者全体の エネルギー消費原単位 対前年度比	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
事業者全体の 5年度間平均原単位変化(%)					

※主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業分類の考え方に基づき各事業者が決定したもの。

【電気の需要の最適化】

主たる事業における 電気需要最適化評価原単位 (2023年度実績)	原単位分母				
DR実施日数					
事業者全体の 電気需要最適化評価原単位 対前年度比	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
事業者全体の 5年度間平均原単位変化					

【ベンチマーク指標の状況(合理化)】

ベンチマーク区分		
目指すべき水準		
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分		
目指すべき水準		
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分		
目指すべき水準		
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分		
目指すべき水準		
ベンチマーク指標の状況		

エネルギー総使用量	13,359	GJ	345	kL
前年度エネルギー 総使用量				kL
非化石エネルギー 総使用量		GJ		kL
調整後温室効果ガス 排出量				t-CO ₂

【調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた認証排出削減量等の量】

種別	合計量
	t-CO ₂
-	t-CO ₂
-	t-CO ₂
-	t-CO ₂

【非化石エネルギーへの転換】

電気の非化石比率	事業者全体で使用する電気				
目標(2030年度)	26.0%				
直近5年度間の実績値	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
					25.4%

目安設定業種					
目安(2030年度)					
目標(2030年度)					
直近5年度間の実績値	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
目安設定業種	-			-	
目安(2030年度)				-	
目標(2030年度)				-	
直近5年度間の実績値	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定量指標)】

--

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】

1. エネルギーの使用の合理化に関する事項
電力使用の主となる揚水機の稼働においては、水稻の生育状況、天候を鑑み、揚水機の台数制御を実施。事務所内の電灯のLED化。省エネ診断を実施し、エネルギーの効率的利用方法の検討を行った。
2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項
主となる電力消費は、農業用水供給用揚水機の高圧電力の為、自社レベルでの非化石エネルギーへの転換は困難である。高圧電力買電先の大手電力会社の非化石化エネルギーの割合が増えることにより、比例して上がっていくものである。低圧電力消費である事務所においては、太陽光発電による自己発電消費への切替の余地があり、検討を今後進めて行く。

【取組の概要:カーボンニュートラルに向けて】

1. 自由記述欄(カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について)
2. 関連リンク

(注意事項)
・赤字囲み欄は必須記載です。
・再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては、情報の公表を継続する必要があります。